

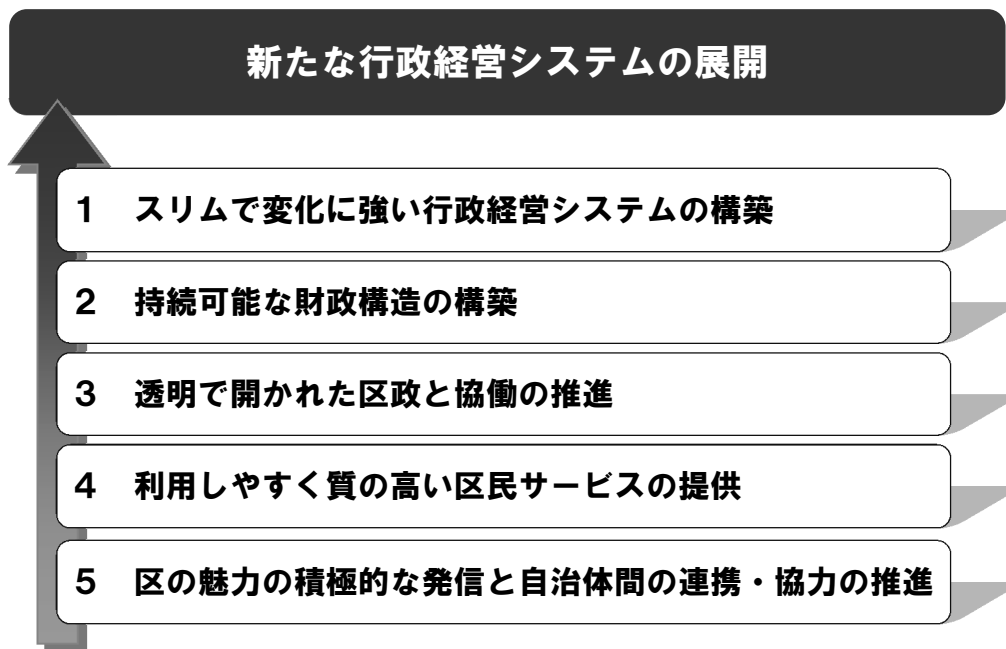
## 2 行財政システム改革の目標

これからの区政は、少子高齢・低成長社会においても、国際化や情報化の進展、ライフスタイルの多様化など急速な社会の変化や新たな潮流に、迅速かつ的確に対応していかなければなりません。

区では、これまでも区民目線での行政運営、様々な主体との参画と協働による分かりやすい区政の推進に取り組んできました。地域が必要とする公共のニーズがさらに多様化し、増加していくことが見込まれる中、行政経営のあり方にも新しい視点を取り入れながら、不断の改革を行っていく必要があります。

豊島区は、新しい都市像としての国際アート・カルチャー都市づくりや持続発展都市の実現、庁舎整備を契機とした連鎖的な副都心再生など、新時代を切り拓く新たなステージを迎えています。

限りある経営資源の中でも、行政の役割を確固として果たし、参画と協働の仕組みを発展させながら、めざす都市像の実現や様々な施策の着実な推進を支える行政経営を展開していきます。



### (1) スリムで変化に強い行政経営システムの構築

#### ◆簡素で効率的な執行体制の確立

「最少の経費で最大の効果」を挙げるため、行政資源を最大限に有効活用するとともに、新たな行政ニーズや課題に対応するため、柔軟かつ効率的な組織運営や人材の育成などに努め、少数精鋭による執行体制を実現します。

#### ◆マネジメントシステムの確立

成果重視の考え方にに基づき、絶えず事業の有効性や必要性を検証するとともに、事業の執行方法を厳しく点検し、見直しや改善などを積極的に進め、効率化を図ることにより、持続可能な行政経営システムを構築します。

## (2) 持続可能な財政構造の構築

---

### ◆計画的・安定的な財政運営

高齢化の進展などに伴い区民サービスに直結する社会保障施策に関連する経費の増大が懸念され、また老朽化に伴う施設の改修・改築需要の増大に対しても、計画的に対処していく必要があります。必要な財政需要に確実に対応できる、計画的かつ安定的で持続可能な財政運営を継続していきます。

### ◆歳入確保の取組み

財源確保の取組みを行いながら、適切な収納対策により、区税や保険料などの収入が安定して確保され、行政サービスの利用においても受益者負担の適正化を保っていきます。

## (3) 透明で開かれた区政と協働の推進

---

### ◆説明責任と透明性の向上、区民参画の推進

行政が情報を広く提供することや説明責任を果たしていくことは、区民の知る権利を保障するだけでなく、区政への区民参加や協働のまちづくりを促進するうえでの前提として重要です。区政情報を広く公開し、区政の透明性を高めるとともに、区民の声を的確に反映できるよう、参画の機会を広げていきます。

### ◆公民連携の推進

地域の課題はますます多様化・複雑化し、行政だけですべての課題解決を図ることは困難になっています。行政に頼らず自ら地域課題の解決を図ろうとする民間主体が出現してきており、既存の枠組みにとらわれない新たな連携の可能性も広がっています。これまでの協働の取組みに加え、民間主体との新たな連携を進めながら地域の課題を解決していく仕組みを築いていきます。

## (4) 利用しやすく質の高い区民サービスの提供

---

### ◆ICTを活用した情報化の推進

情報通信技術の進展が区民生活に役立つよう、情報セキュリティの強化を図りつつ、ICTを活用した情報化を推進し、区民サービスの飛躍的な向上を図ります。

### ◆庁舎窓口等における区民サービスの向上

区民サービスの拠点となる庁舎機能を最大限に活用するとともに、地域の窓口機能の強化等を図りながら、区民にとって利用しやすく質の高いサービスを提供していきます。

## (5) 区の魅力の積極的な発信と自治体間の連携・協力

---

豊島区の様々な魅力を国内外に広く発信することにより、区民の豊島区への愛着や誇りとともに、住みたいまち、訪れたいまちとしての価値を高め、世界中から人々が集まる都市にしていきます。また、国、東京都、他区や関係自治体との連携・協力を進めながら、地域社会を取り巻く様々な政策課題の解決に共に取り組んでいきます。